

中小企業の脱炭素経営に向けたGHG排出量目標（SBT）の設定について

お問い合わせ先：ゼロカーボンシティ推進課事業推進係
 電話番号 0564-23-6786 | ファクス番号 0564-23-6536
 〒444-8601岡崎市十王町2丁目9番地（福社会館5階）



< 岡崎市の脱炭素経営促進支援 >

岡崎市においては、令和2年3月定例会において、2050年に市域の温室効果ガス（以下、GHGとする）排出量ゼロの達成を目指すことを表明し、2021年8月1日に「岡崎市ゼロカーボンシティ推進本部」を設置しています。

ゼロカーボンシティの実現に向けて、施策・取組を進めており、岡崎市内の脱炭素経営に対する意識の高い業者を選定し、岡崎市の脱炭素経営を行う中小企業のモデルケースとなるようにSBTi(Science Based Targets Initiative)によるSBT認定取得（中小企業版）等を目指す脱炭素経営支援を行っています。



< GHG排出量目標の設定フロー >

GHG排出量目標設定には、サプライチェーン排出量を算定した上で、目標を検討していくことが重要です。

0-a	目標設定へのコミット ※1 SBTiにコミットメントレターを提出（任意）
1-a	サプライチェーン排出量の把握 Scope1,2,3排出量の算定 ※2
2-a	目標の検討 Scope1,2目標及びScope3目標を設定 ※2
3-a	取組に向けた社内折衝 SBTiへの目標申請等に向け、社内関係者と折衝
4-a	目標の申請 SBTiに申請書を提出し、認定を取得
5-a	目標達成に向けた対策の実施 排出削減対策、排出量算定の詳細化、進捗報告を実施

<排出量算定のイメージ>

エネルギー種	消費量	排出係数	排出量 (t-CO2)
ガソリン	100 kl	2.322 t-CO2/kl	233.2
A重油	200 kl	2.710 t-CO2/kl	542
LPG	50 kl	2.999 t-CO2/kl	149.95
電力	2000 MWh	0.00047 t-CO2/kWh	940
...
合計	-	-	2530.8

①活動量データを自社購買データ等より引用し、(単位換算に注意!)
 ②対応する排出原単位をデータベースから選択し、
 ③これらを利用して排出量を算定!

<中小企業向けにSBTの申請対象>

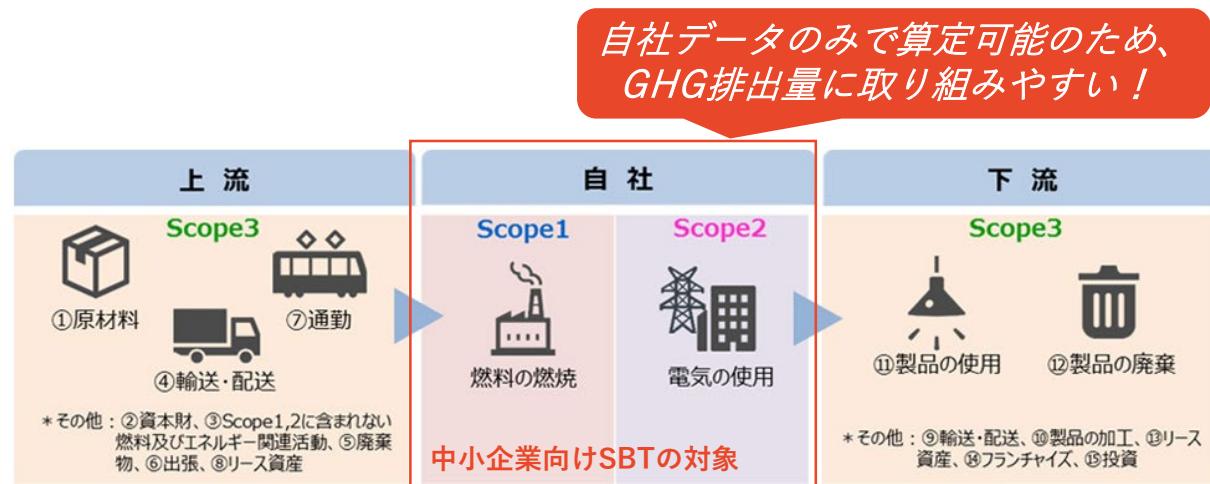
中小企業向けSBT	
対象	従業員500人未満、非子会社、独立系企業
目標年	2030年
基準年	2018年、2019年、2020年、2021年、2022年から選択
削減対象範囲	Scope1,2排出量
目標レベル	1.5℃：少なくとも年4.2%削減

※1 中小企業向けSBTの場合は、コミットメントレターは不要
 ※2 中小企業向けSBTの場合は、Scope1,2が対象

出典：中長期排出削減目標等設定マニュアル（環境省）

< 対象となる排出源 >

中小企業向けSBTの設定に必要なGHG排出量の算定範囲は、自社からの直接排出（Scope1）と間接排出（Scope2）です。そのため、自社のデータ（財務会計など）で算定可能となります。



自社データのみで算定可能のため、GHG排出量に取り組みやすい!

Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)
 Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
 Scope3：Scope1、Scope2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)

< GHG排出量方法 >

直接排出（Scope1）と間接排出（Scope2）の算定は、活動量データと排出係数を用いて算定します。



- < 主な活動量 (Scope1) >
- ①燃料の使用
 - ・ガソリン、軽油、LPG、など
 - ②工業プロセス
 - ・ドライアイスの使用など
 - ③廃棄物
 - ・埋立処分、工場廃水処理など

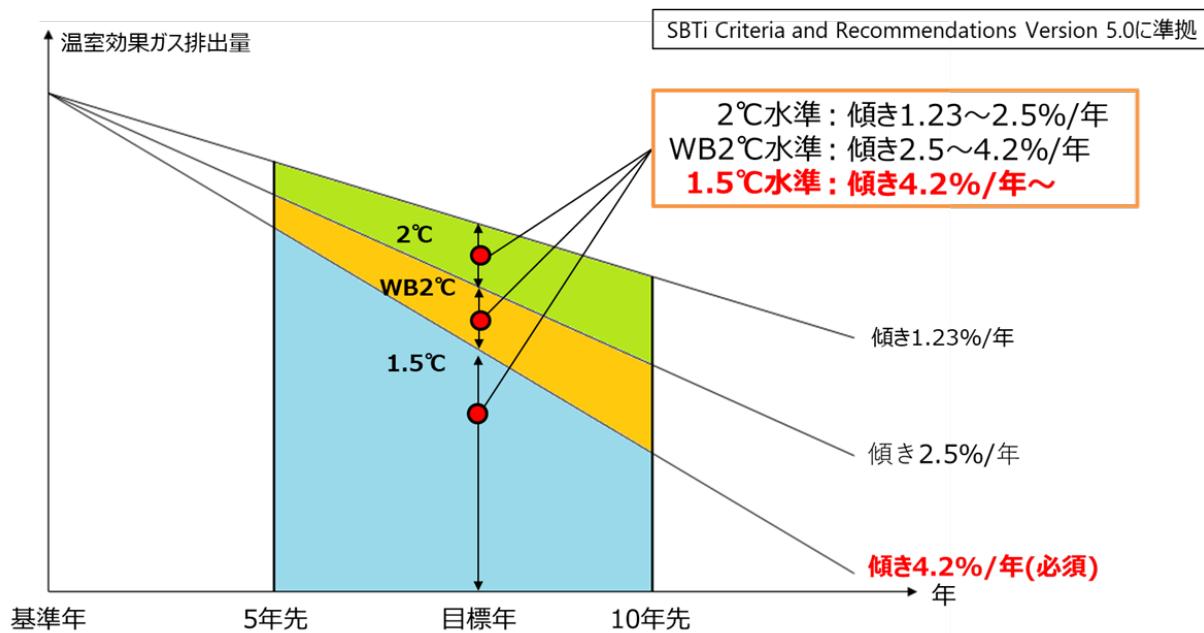
- < 主な排出係数 (Scope1) >
- ①温対法に基づく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度

- < 主な活動量 (Scope2) >
- ①購入した電力使用量
 - ②購入した熱・蒸気使用量

- < 主な排出係数 (Scope2) >
- ①電気事業者別排出係数
 - ②IGES List of Grid Emission Factors

<SBT (Science Based Targets) とは>

SBTは、パリ協定が求める水準と整合した、企業の温室効果ガス排出削減目標のことを指します。SBTでは、4.2%/年以上のGHG排出量削減を目安として、5年～10年先の目標を設定します。なお、中小企業向けSBTでは2030年を目標年とします。



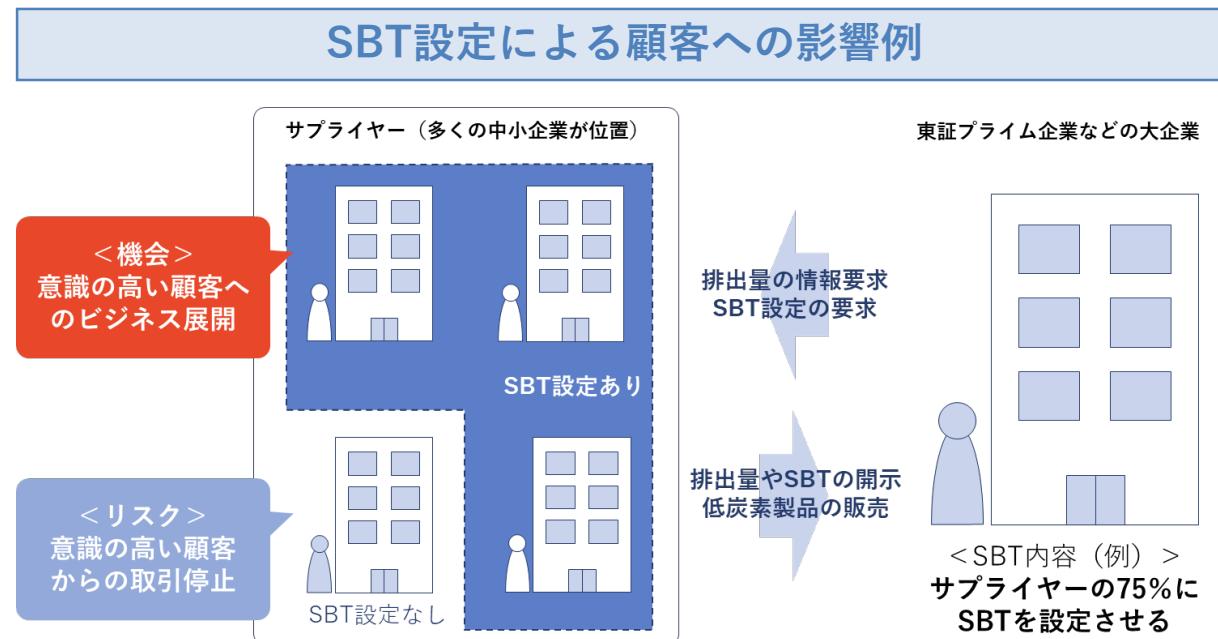
<SBTのメリット>

SBT設定により、パリ協定に整合する持続可能な企業であることをステークホルダーに対して分かりやすくアピール可能です。特に、中小企業は、今後顧客からGHG排出量目標に関する要求が増える可能性が高いため、SBT設定がリスク低減・機会拡大につながります

ステークホルダー	SBT設定によるステークホルダーへの影響
投資家	年金基金等の機関投資家は、中長期的なリターンを得るために企業の持続可能性を評価する ➤ SBTは持続可能性をアピールでき、投資家からのESG投資の呼び込みに役立つ
顧客	調達元へのリスク意識が高い顧客は、サプライヤーに対して野心度の高い目標、取組みを要求する ➤ SBT設定をすることはリスク意識の高い顧客の声に答えることになり、自社のビジネス展開におけるリスク低減・機会の獲得に繋がる
サプライヤー	サプライヤーが環境対策に取組まないことは、自社の評判の低下や、排出規制によるコスト増といったサプライチェーンのリスクになりうる ➤ SBTで設定した削減目標をサプライヤーに対して示すことで、サプライチェーンの調達リスク低減やイノベーションの促進へつなげる
社員	社員に野心的な削減目標や積極的な削減取組みを訴求する ➤ 画期的なイノベーションを起こそうとする気運が高まる

<SBT設定による顧客への影響>

Scope3のSBTでは、「サプライヤーにSBT目標を設定させる」目標を設定することができます。そのため、SBTに認定されることで、意識の高い顧客へのビジネス展開につながります。



<SBT認定取得申請までの難しさ>

SBT認定取得申請までに、容易な点と困難な点があります。そのため岡崎市では中小企業のSBT認定取得を支援しております。

岡崎市でSBT認定取得をサポートします！

項目	容易な点	困難な点
GHG排出量算定	<ul style="list-style-type: none"> 各拠点の燃料・電力使用量の整理など 	<ul style="list-style-type: none"> 排出係数に応じた単位変換 海外拠点の排出係数の確認など
SBT認定取得申請	<ul style="list-style-type: none"> 申請フォームの入力（主に企業情報、算定結果、目標内容を入力）など 	<ul style="list-style-type: none"> 社内の同意（社内の同意には、目標の達成可能性、GHG排出量削減に向けた取組の確認が必要）など

<参考資料>

- 中長期排出削減目標等設定マニュアル（環境省）
https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/GHG_target_settei_manual.pdf
- サプライチェーン排出量算定をはじめの方へ（環境省）
https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/supply_chain.html#no00
- SBT詳細資料（環境省）
https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/intr_trends.html